



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）原 昌一郎
問合せ先責任者 （役職名）総務部長兼経営企画室副室長 （氏名）吉野 大祐 （TEL）03(5496)7671
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	9,099	4.0	69	△68.2	207	△34.6	152	△23.5
2026年3月期第1四半期	8,752	6.1	220	—	316	737.9	199	40.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △675百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △114百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.76	—
2026年3月期第1四半期	60.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	46,619	28,799	61.8
2026年3月期	49,466	29,768	60.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 28,799百万円 2026年3月期 29,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	90.00	140.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 記念配当20円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

2027年3月期の連結業績予想につきましては、中東情勢の長期化に伴い、当社グループの主要事業である石油輸送事業および高圧ガス輸送事業において、需給動向の先行きが不透明な状況にあります。

このため、当該情勢が経済および当社業績に与える影響の範囲や終息時期を合理的に見通すことが困難であることから、現時点では業績予想を公表しておりません。

今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,322,935株	2026年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	56,888株	2026年3月期	56,864株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	3,266,060株	2026年3月期1Q	3,307,119株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にありますが、諸物価の高騰に加え、中東情勢の影響によるエネルギーの問題や為替相場の急激な変動等も懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましても、エネルギーの需給動向の先行きが見通しづらい中、人件費および燃料価格等の上昇や、乗務員の高齢化等を背景とした人手不足の深刻化など、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2024年度～2026年度）のもとで、安全・安定輸送による輸送数量の確保やシェア拡大に努め、新規案件の獲得にも注力いたしました。また、適正な運賃・料金の収受へ向けた対応にも取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、高圧ガス輸送事業および化成品・コンテナ輸送事業における増収により、9,099百万円（前年同期比4.0%増）となりました。一方、人件費をはじめ諸経費の増加により、営業利益は69百万円（同68.2%減）、経常利益は207百万円（同34.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は152百万円（同23.5%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（石油輸送事業）

鉄道輸送においては、鉄道運賃の改定による増収があったものの、前年の出荷地振替による反動減等の影響もあり売上高は減少いたしました。自動車輸送においては、主要顧客の運賃改定等により、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は4,061百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、人件費および鉄道タンク車や車庫の維持修繕費の増加等により、8百万円のセグメント損失（前年同期は180百万円のセグメント利益）となりました。

（高圧ガス輸送事業）

LNG輸送においては、新規輸送および需要増に加え、運賃改定の進捗等により、売上高は2,419百万円（前年同期比4.0%増）となりました。一方、人件費や成長投資に伴う経費の増加により、27百万円のセグメント損失（前年同期は9百万円のセグメント損失）となりました。

（化成品・コンテナ輸送事業）

化成品輸送においては、国内は堅調に推移し、海外もサプライチェーンの変化に伴う需要に對し的確に対応したことにより、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送においては、主として北海道地区における野菜類の輸送需要の減少および中古コンテナ販売の減収により、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,486百万円（前年同期比10.7%増）となり、セグメント利益は44百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）となりました。

（資産運用事業）

不動産事業においては、賃貸収入が減少したものの、太陽光発電事業における増収により、売上高は131百万円（前年同期比0.2%増）となりました。一方、管理費等の増加により、セグメント利益は60百万円（同4.5%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,847百万円減少いたしました。

流動資産は12,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,100百万円減少いたしました。これは主に季節変動による受取手形、売掛金及び契約資産の減少と、有価証券が減少したことによるものであります。固定資産は34,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,747百万円減少いたしました。これは主に減価償却の進捗によるリース資産の減少と投資有価証券が時価変動により減少したことによるものであります。

負債は17,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,877百万円減少いたしました。これは主に法人税等の支払による未払法人税等の減少と賞与の支払による賞与引当金の減少、およびリース債務が減少したことによるものであります。純資産は28,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ969百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.6ポイント上昇し、61.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、中東情勢の長期化に伴い、当社グループの主要事業である石油輸送事業および高圧ガス輸送事業において、需給動向の先行きが不透明な状況にあります。

このため、当該情勢が経済および当社業績に与える影響の範囲や終息時期を合理的に見通すことが困難であることから、現時点では業績予想を公表しておりません。

今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,915	5,725
受取手形、売掛金及び契約資産	4,014	3,493
有価証券	2,398	1,900
その他	967	1,077
流動資産合計	13,296	12,196
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,361	2,369
コンテナ（純額）	2,181	2,086
土地	5,920	5,920
リース資産（純額）	8,932	8,352
その他（純額）	2,706	2,732
有形固定資産合計	22,103	21,461
無形固定資産		
ソフトウェア	301	276
その他	42	49
無形固定資産合計	343	325
投資その他の資産		
投資有価証券	11,632	10,491
退職給付に係る資産	174	162
その他	1,915	1,980
投資その他の資産合計	13,722	12,635
固定資産合計	36,170	34,422
資産合計	49,466	46,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,760	1,527
短期借入金	387	406
リース債務	2,346	2,317
未払法人税等	476	79
賞与引当金	1,037	531
役員賞与引当金	110	29
その他	1,942	2,181
流動負債合計	8,060	7,073
固定負債		
リース債務	6,662	6,118
修繕引当金	611	689
退職給付に係る負債	1,503	1,470
その他	2,860	2,467
固定負債合計	11,637	10,746
負債合計	19,697	17,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	22,560	22,419
自己株式	△250	△251
株主資本合計	24,262	24,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,351	4,531
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整累計額	155	147
その他の包括利益累計額合計	5,506	4,678
純資産合計	29,768	28,799
負債純資産合計	49,466	46,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,752	9,099
売上原価	7,859	8,286
売上総利益	893	812
販売費及び一般管理費	673	743
営業利益	220	69
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	106	143
固定資産売却益	9	5
持分法による投資利益	34	25
雑収入	15	15
営業外収益合計	165	189
営業外費用		
支払利息	32	42
固定資産除売却損	5	1
雑損失	31	8
営業外費用合計	68	52
経常利益	316	207
特別利益		
国庫補助金	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産圧縮損	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	316	207
法人税等	116	54
四半期純利益	199	152
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	199	152

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	199	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△808
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	△40	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△11
その他の包括利益合計	△313	△828
四半期包括利益	△114	△675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114	△675
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	922百万円	974百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,049	2,327	2,244	131	8,752	—	8,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	134	1	1	—	137	△137	—
計	4,184	2,328	2,246	131	8,890	△137	8,752
セグメント利益又はセグメント損失(△)	180	△9	△14	63	220	—	220

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,061	2,419	2,486	131	9,099	—	9,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	133	1	1	—	136	△136	—
計	4,195	2,421	2,487	131	9,235	△136	9,099
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△8	△27	44	60	69	—	69

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。